

県下の交通事故

(平成8年8月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷害
平成7年		3,273件	58人	4,289人
平成8年		3,434件	64人	4,479人
比較		+161件	+6人	+190人



◆ 第114号 ◆
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827

芦川村交通死亡事故ゼロ1万日達成記念大会



大記録の達成を祝福して「100000」の人文字(芦川小・中学校グラウンド)

運動の重点

- 一、高齢者の交通事故防止
- 二、シートベルトの着用の徹底

秋の全国交通安全運動

9月21日(土)から
9月30日(月)まで

この運動は、秋の行楽シーズンを迎え、交通量が増加し、交通事故の多発が心配されることから、県民一人ひとりに交通安全意識を普及して交通安全思想の高揚を図り、交通ルールとマナーの実践を習慣付けて、交通事故を減少させようとするものです。

まずこの運動を契機に、一人ひとりが交通事故防止の主役となって一層の注意を払い、交通事故を一件でも減少させましょう。

七月末現在の県内の交通事故のうち、高齢者の交通事故は、死者が大幅に増加しており十八人が死亡し、全死者の三二・七%に達しています。

とくに歩行中の事故が多く十三人で、七二・二%と高率です。秋の深

さわやか甲斐の路

県内の交通事故による死者数は、八月二十日現在六十四人で、前年比で六人と増加傾向で、また全事故の発生件数も百六十一件、傷者は百九十人

とそれぞれ増加しており、相変わらず危険な状況にあります。

毎年九月以降、それも年が押し詰まるにつれて死亡事故が急増していき

七月末現在の県内の交通事故のうち、高齢者の交通事故は、死者が大幅に増加しており十八人が死亡し、全死者の三二・七%に達しています。

とくに歩行中の事故が多く十三人で、七二・二%と高率です。秋の深

芦川村が死亡事故ゼロ一萬日達成

芦川村は、七月十四日、交通死亡事故発生ゼロが一萬日続きましたので翌十五日、芦川小・中学校グラウンドで、大記録の達成を祝福し、さらなる記録更新を誓っての記念式典を盛大に開催しました。四十四年二月以来、約二十七年半にわたって死亡事故ゼロを続けたもので、福島県尾花村の一萬二千四百八十日に続き、全国第二位の成績です。

民運動である以上、継続的に幅広い地域住民の参加を得て草の根的に展開されることが何よりも重要であり、県外の多くの方々から指摘されている「山梨ルールの払拭」など、ごく身近な事例の実践から第一歩を踏み出していき、草の根運動の第一歩かと思えます。



全国交通安全割を果たしてきたことは、安全運動が、論を待たないところ。その長い歴史の中で、先日、新聞のコラム欄で県外から山梨県人となつて一年目の方が「山梨の交通ルール」について「歩道への乗り上げ駐車」

また、最近では携帯電話の普及に伴い、運転中

交通安全草の根運動

県警交通部参事官 今福 誉



このような意味では、交通安全協会、自治体などに求められる期待は非常に大きいものがあると思えます。

「横断歩道の自動車優先」「信号待ちから発進の際に、直進車をさておき右折車の急発進」「信号が変わろうとする時、無理な交差点進入の停止するために、大きな役割

使用により事故が発生するなどの社会的問題となつていますが、ドライバー自身のマナーの問題ではないかと思えます。



「安全と水はタダ」と、長い間日本では言われてきましたが、阪神大震災やオウム教事件など事件事故は多様化や大型化し、それも突発的に発生するなど安全神話も崩れてきたようです。現在は、自分の安全は自分で守るといふ風潮が高まっており、警備・保険会社等の需要も多く、また浄水製品の普及、販売も活発です。

▼安協は、交通安全実現のため、永年警察と表裏一体となつて活躍している民間による任意のボランティア団体です。

安協役員は、寒暑を問わず街頭に立ち、交通整理をしています。その人達にとり最高の励みは、県民の理解と協力です。ちなみに上野原町では、同町の安協役員二六九人の制服を新調した際、三百万円近く予算化し、奉仕活動を続ける安協役員を激励しました。

▼安全確保には金がかかることを認識し、より官民が一体となり、安全で安心の社会実現のため物心両面で寄与したいものです。

人文字や祈願の塔除幕

〆ゼロ一万日〆 記念式典

芦川村

交通死亡事故ゼロ一万日を達成した芦川村は、スズランの里」とか「コンニャクやソバの産地」として観光客の出入りも多く、また車両保有台数も一世帯平均で二台近く、さらに道路も急カーブが多いなど交通環境は決してよいとはいえない村です。こうした状況下での大記録達成だけに、村内外から称賛と羨望の声があがっています。



さらなる記録更新への誓い

記念式典には、山梨県知事(代理)、県議会議長、県警本部長、県交通安全協会会長、関係町村長ら多くの来賓と、村民六百人余りが集まり、市川久栄新村長が「この大記録を村民全員で喜び、今後どこまでもこの記録を更新しよう」と力強くあいさつしました。引き続き、記録達成に貢献した村内の永年無事故、無違反を継続している優良運転者

が表彰されました。来賓の天野建知事代理で出席した牧野出納長や加地県警本部長らが、芦川村のすばらしい記録を称賛し、今後とも永遠に更新を続けるように期待する旨の激励のあいさつをしました。

お祝いのくす玉を割ると「交通死亡事故ゼロ一万日達成記念」のたれ幕が下がり、花火が打ち上げられました。その後、参加者全員が黄色い帽子をかぶって「二〇〇〇〇」の人文字を作り、県警へ「はやて」が旋回しながら人文字をカメラやビデオに撮影しました。また県警音楽隊等の先導によるパレード、「交通安全祈願の塔」の除幕式などが行われました。

県交通安全協会は、七月十日甲府市古名屋ホテルで理事会を開き、「夏の交通事故防止県民運動」のすめ方など当面の諸問題について協議しました。

理事会では、志村哲良会長があいさつで「県内の交通事故は、死者はわずかに減少しているが、全体事故の発生件数や傷者は増えている。例年七月以降に発生件数や死者等も増加する傾向にあるの

で、民間の奉仕団体である安協の活動もむずかしい時代ではあるが、組織が一体となって交通事故防止に寄与したい」と、安協の積極的な活動を提言しました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

件数・死者・傷者とも増加 夏の事故防止運動終わる



警察・安協役員などによる街頭指導

県交通安全本部と県交通安全推進協議会主催の平成八年度「夏の交通事故防止県民運動」は、七月二十日から八月二十日までの三十二日間、運動の重点を、一、子どもと高齢者の交通事故防止、二、若者の無謀運転及び暴走族の追放、三、シートベルト着用の徹底として強力に実施されました。期間中は、県下各地で暑さと闘いながら、安協役員をはじめ交通関係団体の大勢の人々が、

県・警察等の活動と一体となって取り組み、交通安全街頭指導所を開いてドライバーに安全運転を呼びかけるなど交通安全運動を活発にくりひろげました。期間中は高校総体開催も間接的に影響したのか、発生件数五百四十七件、死者十四人、負傷者七百二十五人で、昨年同様に件数は六十五件、死者は七人、傷者は百二人といずれも増加という好ましくない結果に終わりました。

県交通安全本部は、芦川村など長期間交通事故死ゼロを続けている自治体に感謝状を贈呈する制度を創設し、功績をたたえ、ともに、より快適な交通環境を目指すことにしました。この表彰は人口によつて基準を変え、例えば人口二十万人以上の市は百五十日、三千人未満なら二十日で一回の表彰とし、継続すると三回まで表彰することになっています。

芦川村の記録が続いて、県内では芦安村が七九八日、勝山村が四一五九日など死亡事故ゼロを続けており、さらに忍野村・早川町・小菅村・豊富村など六町六村で基準を満たしているため、県警では近くこれらの自治体に表彰状を手渡すことにしています。

は、七月五日、園芸高校の敷地内の運転コースで、各高校の交通安全教育担当の教諭を対象に、準指導員取得審査会を初めて開きました。

山梨県二輪車安全運動推進委員会の事業の一つに「二輪車の安全教育を行う準指導員の資格認定に関すること」が規定されていますので、その規定に従って今回の審査会を実施したものです。

この制度の資格には、知識や技能または経験の程度等に応じて「特別指導員」「指導員」「準指導員」の三種類があります。このたび先生方には準指導員の資格審査を受けていただいたものです。雨の中、五十七人の先生方が審査を受け、ほとんどが立派な成績で「準指導員」の資格を得た。また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。



効果的な安協活動を指示する志村会長

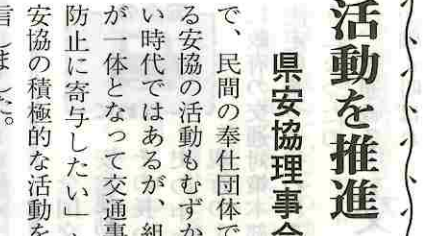
続いて議事に入り、安協の組織や就業規則の改正案等が審議されました。「夏の交通事故防止県民運動」

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。



雨中で健闘する先生方

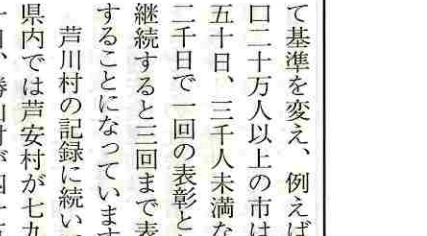
交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。



高齢者のみごとな演出

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

交通安全協会が効率的に活動を推進するために、将来を正しく見据えながら組織力の強化を図り、また地域の人々に正しい理解と協力を得るための粘り強い宣伝や説得が必要であることを確認し、さらに今後常任理事会等において問題点を検討することになりました。

自動車や原付自転車には必ず任意の損害保険を付加してください。損害保険代理店 株式会社 たいよう共済山梨支店 甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階 TEL0552-28-0691

シートベルトは「命のたすき」

春・秋の全国交通安全運動並びに夏と年末、年始に実施している「交通事故防止県民運動」等で常に運動の重点として取り上げられる「シートベルトの着用」の徹底があります。

いけば助かったと認められる事故では救命率が三三・三%と高くなっています。シートベルト未着用者による死亡事故の増加傾向に歯止めをかけるため、シートベルトの必要性及び運転者や同乗者等の留意すべき点をまとめてみました。

救命率は33.3% 未着用には減点1



乳児には、幼児には、子どもには、

県内発生のおよそ半分の交通事故に関係した者のシートベルト着用率は、人身事故で七六・八%ですが、死亡事故になりやすくと一八・二%と激減するなど、重大事故になればなるほど、法規を守らず、さらにシートベルトの着用率も低下しているのが実情です。

県内における交通事故の死者五十五人中、シートベルトの着用義務者は二十二名あり、このうち着用者が四人で着用率は一八・二%であり、残り十八人中六人が着用して

意すべき点をまとめてみました。

一、シートベルト着用義務の法律上の規定

昭和六十一年十一月一日から、すべての道路に於いて、運転者及び助手席同乗者がシートベルトを着用しなかつた場合は、運転者に一点減点のペナルティが付けられます。

二、シートベルト着用の必要性

①運転者と同乗者を守るにはシートベルトといわれ、運転者等の死傷のほとんどが衝突の衝撃で座

県勢健闘、2人が入賞 二輪車安全運転全国大会



サーキットに集うライダー

全日本交通安全協会と全日本二輪車安全運転推進委員会主催の第二十九回二輪車安全運転全国大会は八月三・四の二日間、三重県の鈴鹿サーキットで開催されました。

競技方法は、排気量四〇〇cc超過が一般B、同四〇〇cc以下が一般A、それに高校生と女性クラスは一五〇cc以下の二輪車を使用することとし、競技内容は法規にもとずく安全走行と各種条件下による運転技能を審査され、その減点合計の多少により団体と個人の順位が決定されます。

同大会に出場した本県代表は、六月二十三日に開催された県大会の各クラスを判断して運転しているかかかわらず追突するといったことは、前車が予想に反して急制動した場合もありませんが、衝突寸前あるいは衝突して前車が停止しているのに気が付いたというものも少なくありません。

万沢小が連続出場 子ども自転車全国大会

全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会主催の第三十一回交通安全子ども自転車全国大会は八月六・七の両日、全国四十七都道府県の代表四十七チーム、百八十八人の小学生が参加し、一チーム四人の生徒により学科と実技の総合点数で競われました。

第一日目は都内のコマ旅行会館で学科テストが行われ、出場選手は交通安全協会から「優秀ライダー」賞を授けられました。

とくに今回は、活躍した青木選手の母校航空高校二輪車愛好会の同僚が応援に駆け付けるなど和やかな場面もみられました。

シグナル

追突事故の原因で多くを占める脇見は、ほとんどの場合、運転者は、前車の存在、前車との車間距離、双方の速度等を認識し、脇見のできる余裕を判断して運転しているかかかわらず追突するといったことは、前車が予想に反して急制動した場合もありませんが、衝突寸前あるいは衝突して前車が停止しているのに気が付いたというものも少なくありません。

体調を知って運転を

早く交差点を通り過ぎよう、先を急ごうなどの意識があったとか、一時停止・左右確認という一連の行為を形式的に行つたとかの場合、運転者の目に相手車両が写っていてもその存在を認識しない場合があるのではな

体調を知って運転を

このように交通安全事故の原因には、運転者の体調や精神的なものが大きくかかわっていると感じているところでは、ないかと思つたのです。

本県代表として出場した南巨摩郡富沢町立万沢小学校（金井さとみ校長）チームは、昨年引き続きの三年連続、通算五度目の出場でしたので、これまでの体験を生かしてよく健闘しました。ご苦労さまでした。来年も頑張ってください。



見劣りしない万沢小チーム

安管講習会実施日

月 日	場所	受講対象者(警察署管内名)
10月7日(月)	甲府市総合市民会館	南 甲 府
10月15日(火)	富士吉田市民会館	富 士 吉 田
10月23日(水)	県立文学館	甲 府
10月29日(火)	白根桃源文化会館	小笠原・韭崎・長坂
11月14日(木)	増穂町文化会館	鵜沢・南部・市川
11月20日(水)	大月市民会館	都留・大月・上野原
11月21日(木)	塩山中央公民館	石和・日下部・塩山

自転車で交通事故に遭わないために 完全に点検・整備された安全な自転車を!!

- 点検・整備された安全な自転車は、県下248の安全整備店で扱っています。
- TSマークは、点検・整備された自転車の印です。
- TSマーク付自転車に乗車中に交通事故に遭い受傷すると、見舞金が贈られます。

山梨県自転車軽自動車商協同組合 甲府市飯田5丁目12-9 0552-22-9207

十一月に七回開催 安全運転管理者講習会

山梨県交通安全協会が講習内容もこれまでとは趣きを異にしたものにしていきます。

安全運転管理者・同副管理者等は法定講習会は、十一月の二カ月で七回(別掲)行うことが、決まりました。

受付は正午からとし、夕方までの半日で終了することになります。また、なお会場には極力バスなどでおいで下さい。

★全車種(大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許)の免許の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人 山梨県交通安全協会経営 公認 山梨自動車学校 中巨摩郡八田村野牛島1828 (運転免許センター内) TEL (0552) 85-0752



夏の事故防止運動など

制服新調に補助



新調した制服で活躍する安協役員（上野原）

上野原交通安全協会（小澤正一会長）は上野原町（奈良明彦町長）に対して、安協役員二百六十九人全員の制服を新調するための補助金を要請していたところ、このほどそれが認められました。

同町としては、安協役員がボランティア活動として、町内駅伝大会、祭典警備を初め各種行事に最大限の取り組みを行っており、地域の交通安全に大きく貢献していることを認めてくれたものであって、安協役員一同、今後の活動への決意を新たにしています。

緊急事態を宣言

▽韮崎安協

韮崎交通安全協会（山寺嘉一郎会長）は、韮崎警察署と一体となり、七月五日から一カ月間「交通事故防止緊急対策」を実施して、成果をあげ



事故絶滅への願いをこめて（韮崎）

ました。同署管内では、昨年は一年間で七人死亡なのに、今年は、既に前半で六人となったため、緊急事態宣言をだしたものです。安協二十三支部の役員が、期間中毎日二十三人ずつ街頭に立ち、交通指導や整理を行った結果、管内の事故は前年同期に比べ、件数五件、死者一名、傷者三名とそれぞれ減少しました。

全国高校総体で活躍

▽南甲府安協

八月一日から、甲府市内の小瀬スポーツ公園をメイン会場に「全国高校総体」が盛大に開催されましたが、この会場を管内にもつ南甲府安協（鷹野正慈会長）は、猛暑と闘いながら連日街頭に立ち交通指導や整理に長期間汗を流しました。

同大会に皇太子殿下、

同妃殿下がご臨席に伴う警備もあり、また大会関係者など数万人が集まる



インターハイ成功に貢献（南甲府）

ため人や車両に対する交通整理に多くの安協役員が出動し、大会が無事終了でき大変感謝されました。

安協新聞を発行

▽日下部安協

日下部交通安全協会（久保田宝会長）は、以前から「安協ニュース」を発行して会員等に配布してきました。しかし、同ニュースだけでは、管内の交通状況が分からないため、今回「安協新聞」第一号（一万二千部）を発行し、安協の会員宅を中心に配布しましたところ大変好評でした。

同安協では、安協の仕事



安協新聞の発行（日下部）

事を正確に理解してもらうために、年四回同新聞を発行する方針です。

グラウンドで誓い

▽鯉沢安協



親睦深め事故防止を決意（鯉沢）

鯉沢交通安全協会（長沢良弘会長）の増穂支部

（望月勝政支部長）は、六月二十三日、増穂町内利根川グラウンドで、安協役員と鯉沢署員並びに田中準人増穂町長ら町職員など七十六人が参加して、「交通安全グラウンドゴルフ大会」を開催し、管内での交通事故ゼロを誓いあいました。

参加者は、汗をかいて体力を増強するとともに、親睦を深めて、この効用を利用し事故防止に努めた結果、高校総体バレー会場での警備や交通整理などが順調に行われて効果満点な行事となりました。

婦人部の活動

婦人部体制を充実

▽日下部安協

日下部交通安全協会（久保田宝会長）は、今年五月開催された定期総会



組織拡充でがんばる婦人部員（日下部）

で婦人部の充実、強化を図ることとし、六月末までに体制を整えました。

日下部安協では日下部交通安全母の会が活発な活動をしているのに比べ

二輪車安全運転講習が充実・強化！

道路交通法の改正に伴い、二輪免許試験が改正されるほか、指定自動車教習所において大型自動二輪車（四五〇ccをこえるもの）教習が開始されます。

従来から二輪車安全運転推進委員会（以下「地方二推」という）が実施している「自動二輪車安全運転講習」について、その一部を改正して実施することになり、「二輪車安全運転講習強化推進要綱」が策定されました。

○主な改正要点
①講習時間の変更

第一段階、第二段階の講習の時間が四時間となりました。

②入門段階講習の新設
ギヤー付きの普通自動二輪車の操作方法を指導する「入門段階講習」が設けられました。

したがって講習の種類として、第一段階講習、第二段階講習及び入門段階講習の三種別となりました。

また、原付免許所持者で、普通自動二輪（四五〇cc以下の自動二輪）免許取得を希望する者も、受講対象として受け入れることとなりました。



婦人部活動のあり方を学ぶ研修会（小笠原）

て、安協婦人部の活動が低調でしたので、今回婦人部員を増員して体制を充実したものです。

婦人部長も交替し、山梨市の加藤てるさんが就任、さらに管内の春日居町、牧丘町、三富村の各町村から副婦人部長を選出しました。

夏期研修会を開催

▽小笠原安協

小笠原交通安全協会（松田良一会長）の婦人部（河西美佐子婦人部長）は、七月五日、甲西町内の農村センターで婦人部員百五十名余が参加して交通安全夏期研修会を開催し婦人部活動のあり方を学びました。

同安協では、より充実した交通安全活動をすすめるためには学習が必要であるとして、例年「交通安全夏期研修会」を実施

反射材を展示即売

▽甲府安協

甲府交通安全協会（秋山登会長）の婦人部（横田綾子婦人部長）は、「高齢者交通安全ファッションショー」が開催された県民会館大ホールのロビ



反射材即売所で活躍する婦人部員（甲府）

一人で二、三個購入する高齢者も出るなど、準備した十九品目、二百六十点がまたたくまに売り切れとなりました。

夜間事故の防止が期待されます。

交通安全ファミリー作品募集

皆さんのご家族において、また、家族の構成員として学校、職場、地域等において交通安全について考えた結果として、交通安全に関する日常の会話や独自の工夫、慣行などの実践例について作文にしてください。

（応募期間）平成八年七月一日から同年九月二十日（消印有効）まで

（応募区分）
①小学校低学年の部（一・二・三年生）
②小学校中学年の部（三・四・五年生）
③小学校高学年の部（五・六・七・八・九・十年生）
④中学生の部
⑤母親・一般の部

（応募方法）
①小学生及び中学生は、四〇〇字詰原稿用紙三枚以内
送り先
〒一〇一 千代田区外神田二丁目一七、共同ビル 日本交通福祉協会・交通安全作文募集係（〇三三三五〇二〇八二）
②母親・一般は、四〇〇字詰原稿用紙五枚以内で題をつけて下さい
送り先
〒一〇一 千代田区霞が関三丁目一 総務庁交通安全対策室交通安全作文募集係（〇三三三五〇二〇八二）
③作文は、未発表のもので、自作のものに限ります
（その他）
①総務庁長官賞や同庁交通安全対策室長賞
②平成九年開催予定の交通安全国民運動中央大会表彰

交通安全年間スローガン募集

（応募期間）平成八年七月初旬から九月二十日まで

（募集部門）
○一般部門
（小・中学生も含む）
●運転者（同乗者を含む）に対するもの
重点テーマ
（1）シートベルト着用の徹底（チャイルドシートも含む）
（2）運転マナーの向上
●歩行者、自転車利用者に対するもの
重点テーマ
（1）高齢者の交通安全
（2）夜間の事故防止

（発表）平成八年十二月初旬、毎日新聞、NHK等で発表

（送付先）東京中央郵便局私書箱三八号
〒一〇〇九一 毎日新聞社文化事業部「交通安全年間スローガン」係